

日立ダイアグモニタ HDM-8000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

HDM-8000 ソフトのバージョンアップのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。診断ソフトをバージョンアップ致しましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. バージョンアップ内容

(1) 機能/対象車両追加

ソフト	バージョン	主なバージョンアップ内容	参照先
トヨタ	8.13	作業サポートに「クリアランスソナー検知調整」「クリアランスソナー検知調整(簡易検査)」を追加しました。 主な対象車両は CROWN HV (AWS210)です。	-
ベンツ	3.82	対象車種追加、作業サポートの追加を行いました。	9 ページ
VW/AUDI	4.87	● VW ポロの DTC の内容の表示に対応致しました。 ● エーミングに対応しました。(対象車両と機能は参照先に掲載)	11 ページ

※故障診断サポートセンターでは輸入車のサポートは対象外となる為、上表の車両についてはアドバイスと資料提供は行っておりません。

(2) 修正対応

操作性等の向上を目的に下表のソフトの修正対応を行いました。

ソフト	バージョン	修正内容
日産	6.99	スカイライン HV の全自己診断時の不具合を修正しました。
三菱	6.24	AVM(マルチアラウンドモニタ) の作業サポートの通信の不具合を修正しました。
ふそう	4.77	● 2017 モデルのエアロエースの全自己診断の不具合を修正しました。 ● 年式選択画面を修正しました。

2. バージョンアップ手順

2 ページ目からの手順をご参照の上、バージョンアップを行ってください。

3. リリース時期

2023年4月12日19時から、お手元のHDM-8000へのダウンロードとインストールが可能です。

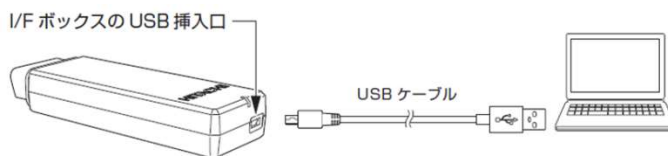
以上

HDM-8000 アプリと診断ソフトのバージョンアップ手順

本手順を実行頂くと全ての診断ソフトとタブレット側アプリが最新版にバージョンアップされます。個別の診断ソフト、アプリ毎で本手順を行って頂く必要はございません。

【手順 1】

本体キット付属の USB ケーブルで、HDM-8000 インタフェースボックスとパソコンを接続してください。



【手順 2】

上記の【手順 1】を行った後、パソコンに表示される内容と下表を照会の上、いずれかの手順を行ってください。

パソコンの画面上に表示された内容	次の手順
「自動再生」が表示される	本ページの【手順 A】を行ってください。
「スキャンして修復しますか？」という様なメッセージが表示される	本ページの【手順 B】を行ってください。
「自動再生」が表示されない	7 ページの【手順 C】を行ってください。
「編集ボタンから個人情報保護・・・」のメッセージが表示される。	8 ページの【手順 F】を行ってください。

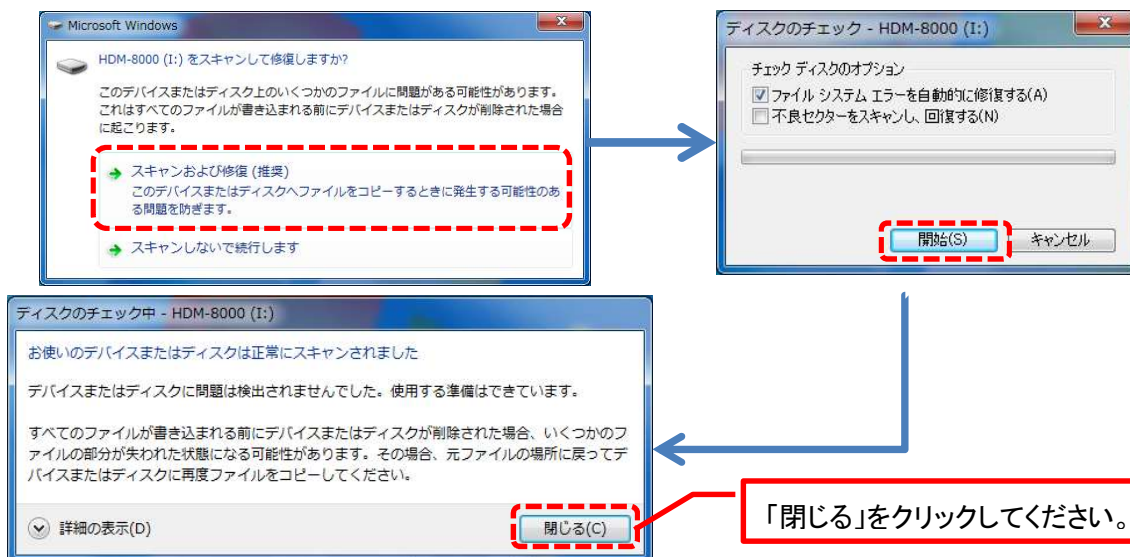
【手順 A】

「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックするとフォルダが開きますので、フォルダ内にある「HDM8000. exe」のアイコンをクリックしてアップデートツールを起動してください。その後、3 ページの【手順 3】へ進みます。



【手順 B】

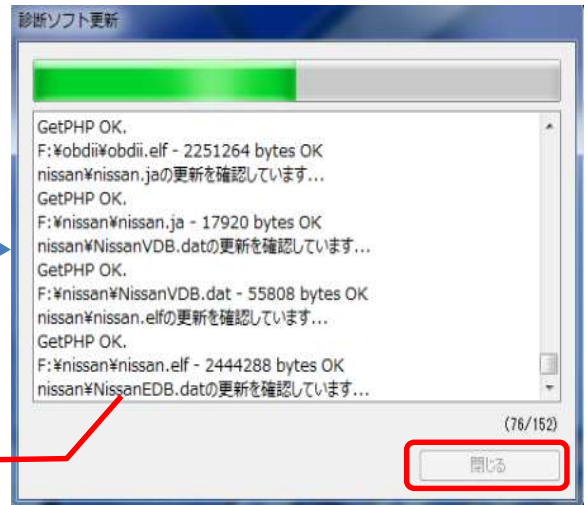
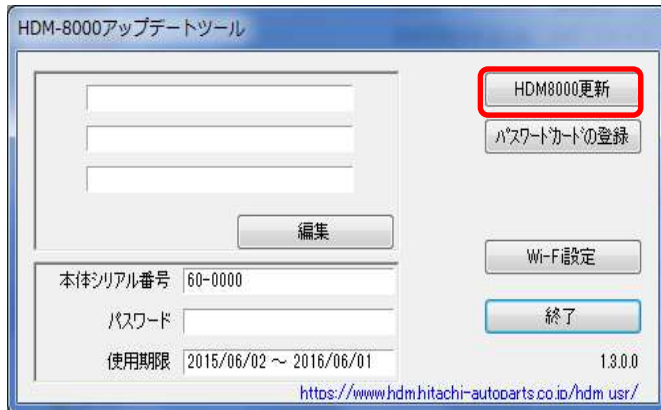
表示内の「スキャンおよび修復（推奨）」をクリックしてください。その後、「ディスクのチェック」が表示されましたら「開始」をクリックしてください。最後に「正常にスキャンされました」が表示されましたら【手順 A】に進みます。



（次ページに続く）

【手順 3】

アップデートツールの「HDM-8000 更新」をクリックしてください。最新の診断ソフトとタブレット側アプリがダウンロードされます。診断ソフト更新内に「アップデート完了」が表示されましたら、「診断ソフト更新」の右下にある「閉じる」をクリックしてください。



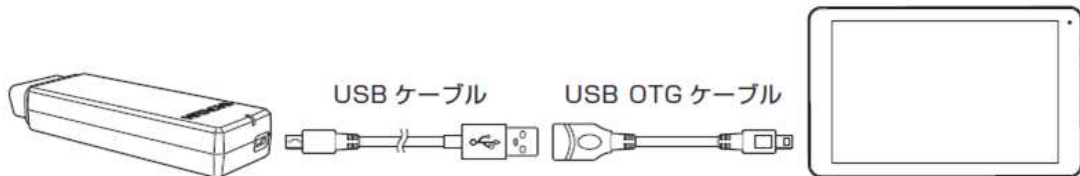
全てのソフトとアプリのダウンロードが完了するとこの欄の最下部に「アップデート完了」が表示されます。

【手順 4】

アップデートツールの終了ボタンをクリックし、次に HDM-8000 のフォルダを開けてください。その後、パソコンのタスクバーに表示されている USB のアイコンをクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してから、インターフェースボックスをパソコンから取り外してください。

【手順 5】

タブレットの電源を起動し、下図の様に USB ケーブルと OTG ケーブルでインターフェースボックスとタブレットを繋げてください。



【手順 6】

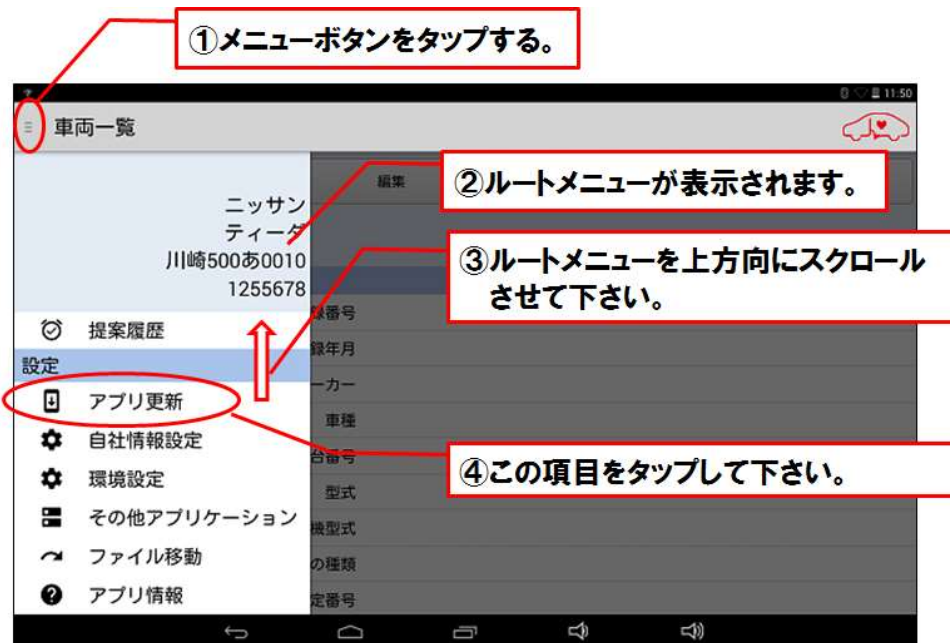
タブレットとインターフェースボックスを接続後、15 秒程度で「SD カードの準備中」が画面左上に表示されます。



(次ページに続く)

【手順 7】

下図の手順でルートメニューを表示させ、「アプリ更新」をタップしてください。



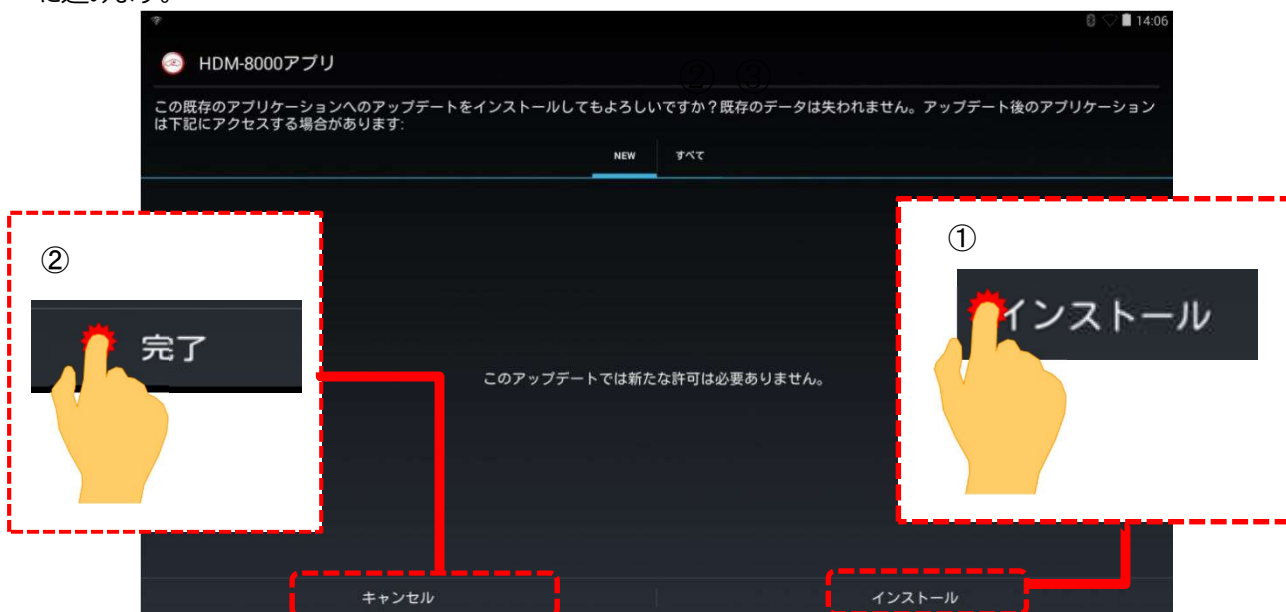
【手順 8】

上記【手順 7】を行った後のタブレット側の表示と下表をご照会の上、手順 D か E のいずれかを行ってください。

タブレットの画面の表示内容	次の手順
各アプリのアップデート画面が表示されている	本ページの【手順 D】を行ってください。
「既に最新バージョンがインストールされています」が表示されている。	次ページの【手順 E】を行ってください。

【手順 D】

- ① 画面右下の「インストール」をタップしてください。アップデート版アプリのインストールが開始されます。
- ② 「アプリをインストールしました」が表示されましたら、画面左下の「完了」をタップします。
- ③ その他のアプリのアップデート画面が表示されますので、上記①～②の操作を繰り返し行ってください。
- ④ 「アプリケーションの更新が完了しました。」が表示されましたら「終了」をタップして 5 ページの【手順 9】に進みます。



※：アップデート版アプリのインストールが完了すると画面左下の「キャンセル」が「完了」に変わります。

(次ページに続く)

【手順 E】

「終了」のボタンをタップして【手順 9】を行った後、
【手順 11】に進みます。
※【手順 10】は飛ばしてください。

既に最新バージョンがインストールされています。

定期的にアプリケーションの
更新チェックを実施してください。

終了



【手順 9】

下図の手順で設定画面を表示させてください。



【手順 10】

- ① 設定画面の左側のメニューにある「アプリ」をタップしてください。
- ② 「健康診断アプリ」をタップして「バージョン 1.55」、「故障診断アプリ」をタップして「バージョン 1.59」と表示されていれば【手順 11】に進みます。これよりもバージョンが古い場合は再度【手順 7】に進みます。



(次ページに続く)

【手順 11】

下図の手順で「Unmount USB storage」を表示させてください。

① 左側のメニュー内の「ストレージ」をタップします。

② 右側のメニューを上方向にスクロールさせてください。



③ Unmount USB storage が表示されます。

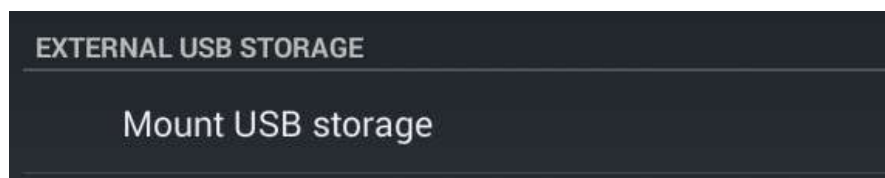
【手順 12】

「Unmount USB storage」をタップすると下図が表示されますので、「OK」をタップしてください。



【手順 13】

「USB storage will be unmounted」というメッセージが表示された後、画面右側に表示されていた「Unmount USB storage」が下図の表示になりましたら、タブレットからインターフェースボックスを取り外してください。



以上で完了です。

【手順 C】自動再生が実行されない場合

パソコンによっては、ウイルスソフトが自動的に実行されるのを防止する為、USB メモリ等が接続された際の自動再生が設定されていない場合がございます。

自動再生が実行されない場合は以下の手順で HDM-8000 インターフェイスボックス内部の「HDM-8000.exe」を起動してください。

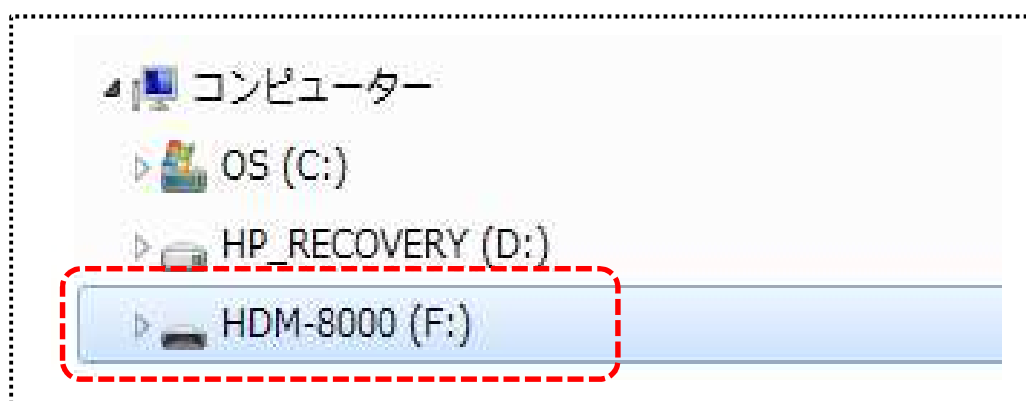
【手順 1】

パソコンの画面下部にあるタスクバーに表示されている「エクスプローラ」をクリックしてください。



【手順 2】

「エクスプローラ」が起動します。画面の左側にある「コンピューター」に「HDM-8000」が表示されておりましたら、「HDM-8000」をクリックしてください。



【手順 3】

HDM-8000 のインターフェイスボックス内のファイルが表示されます。「HDM-8000.exe」をクリックして、アップデートツールを起動してください。その後、3 ページの【手順 3】に進みます。

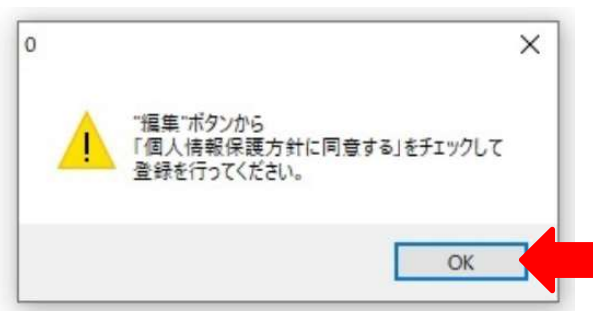
【手順 F】弊社の個人情報取扱方針の確認のお願い

2022年2月24日付で弊社の個人情報取扱方針（ユーザー登録情報の取扱と利用目的の規約）を改定致しましたので、弊社ではアップデートツールを介して、各ユーザー様に内容をご案内しております。

個人情報取扱方針のご確認、ご同意をお願いするメッセージが表示されましたら【手順 1】～【手順 3】の操作を行っていただきたく、何卒、宜しくお願い申し上げます。

【手順 1】

左図のメッセージの「OK」（赤矢印の箇所）をクリックしてください。



【手順 2】

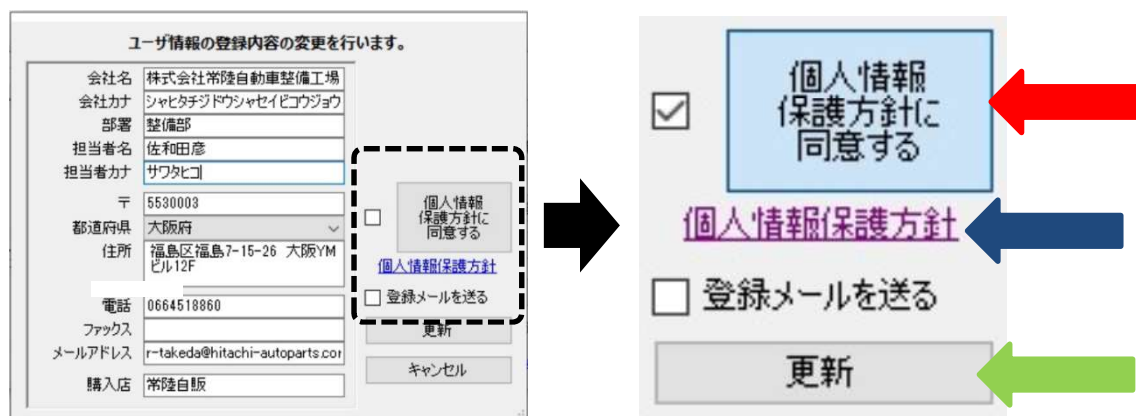
アップデートツールの「編集」（赤矢印の箇所）をクリックしてください。



【手順 3】

「ユーザー情報の登録内容の変更を行います」が表示されます。下記の①～④を行ってください。

- ① 「個人情報保護方針」（下図の青矢印の箇所）をクリックして、文字の色を反転させてください。
- ② ブラウザ上に個人情報取扱方針の PDF が表示されます。内容をご確認ください。
- ③ 内容を確認後、「個人情報保護方針に同意する」のボタン（下図の赤矢印の箇所）をクリックしてチェックを入れてください。
- ④ 「ユーザ登録情報」のボタン（下図の緑の矢印の箇所）をクリックして完了です。2 ページ目の第 3 項の操作を行ってください。



- 上記の【手順 1】～【手順 3】は一度行っていただければ、以後、弊社が個人情報取扱方針の変更を行った場合を除き、【手順 1】のメッセージは表示されません。

H D M-8000 用ベンツソフトのバージョンアップのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。さて、H D M-8000 用ベンツソフトをバージョンアップいたしますので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1.対象車両の追加

以下の車種を追加しました。(車体番号の頭3桁が「W1K」、「W1N」、「W1V」は未対応。)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● Bクラス(247) ● CLAクラス(118) ● CLSクラス(257) ● Eクラス(207/213/238) ● Gクラス(463.(234/236/272/274/346/348)
[2012/08~2018/05] ● Gクラス(463.(260/276/349/350) [2018/06~] ● GL/GLSクラス(166) ● GLAクラス(156) | <ul style="list-style-type: none"> ● GLCクラス(253) ● GLEクラス(167/292) ● GLKクラス(204) ● GLSクラス(167) ● M/GLEクラス(166) ● Sクラス(217) ● SLC/SLKクラス(172) |
|--|---|

2.現在故障コード/過去故障コードの表示対応

以下の車両の故障コードの状態(現在故障/過去故障)を区別して表示するように変更しました。

(車体番号の頭3桁が「W1K」、「W1N」、「W1V」は未対応。)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●Aクラス(176/177) ●Bクラス(246/247) ●Cクラス(204/205) ●CLAクラス(117/118) ●CLSクラス(218/257) ●Eクラス(207/212/213/238) ●Gクラス(463.(234/236/272/274/346/348)
[2012/08 ~ 2018/05] ●Gクラス(463.(260/276/349/350) [2018/06 ~] ●GL/GLSクラス(166) ●GLAクラス(156) | <ul style="list-style-type: none"> ●GLCクラス(253) ●GLEクラス(167/292) ●GLKクラス(204) ●GLSクラス(167) ●M/GLEクラス(166) ●Sクラス(217/222) ●SLクラス(231) ●SLC/SLKクラス(172) ●Vクラス(447) |
|--|---|

(次ページに続く)

3.作業サポート機能の追加

以下の車種の作業サポートを追加しました。(車体番号の頭3桁が「W1K」、「W1N」、「W1V」は未対応。)

車種	追加された作業サポート機能		
	メンテナンス※	EPB 取付け位置	バッテリー交換の確認
Aクラス(176/177)	○	○	○
Bクラス(246/247)	○	○	○
Cクラス(204/205)	○		
Cクラス(205)			○
Cクラス(205) [前期モデルのみ]		○	
CLAクラス(117/118)	○	○	○
CLSクラス(218/257)	○		
Eクラス(207/212/213/238)	○		
Gクラス(463.(234/236/272/274/346/348) [2012/08 ~ 2018/05]	○		
Gクラス(463.(234/272/348) [2015/12 ~ 2018/05]			○
Gクラス(463.(260/276/349/350) [2018/06 ~]	○		○
GL/GLSクラス(166)	○	○	
GLSクラス(166)			○
GLAクラス(156)	○	○	○
GLCクラス(253)	○		○
GLEクラス(167/292)	○		
GLEクラス(292)		○	○
GLKクラス(204)	○		
GLSクラス(167)	○		
M/GLEクラス(166)	○	○	
GLEクラス(166)			○
Sクラス(217/222)	○	○ [前期モデルのみ]	○
SLクラス(231)	○	○	
SLC/SLKクラス(172)	○		
Vクラス(447)	○		○

※: サービスインターバルリセット機能 = トータルメンテナンスのリセット/前回のトータルメンテナンスに戻す

以上

VW・AUDI ソフト Ver.4.87/エーミング機能モード対象車両一覧（2023年4月12日現在）

年式により対応不可の場合がございます。

1.VW

車種	システム	調整方式
ゴルフ7(AU)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
ゴルフ8(CD)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
ゴルフトゥーラン(1T)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
ポロ(AW)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
パサート(3C)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
アルテオン(3H)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
ティグアン(5N)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
T-Cross(C1)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
T-Roc(A1)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
シャラン(7N)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
トゥアレグ(7P)	カメラECU	フロントカメラキャリブレーション

2.AUDI

車種	システム	調整方式
A1(GB)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
A3(8V)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
A3(GY)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
A4(8W)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
A5(F5)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
A6/A7(4G)	カメラECU	フロントカメラキャリブレーション
A6/A7(4K)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
A8(4H)	カメラECU	フロントカメラキャリブレーション
A8(4N)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
Q2(GA)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
Q3(F3)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
Q5(FY)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
Q7(4M)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
Q8(F1)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
TT(8S)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション
e-tron(GE)	ドライバーアシストシステムフロントセンサー	フロントカメラキャリブレーション